

議会だより

う

ち

こ

vol. **46**

令和5年8月
発行

【夏 開始の号砲!!】

2023 内子夏まつり花火

議会人事決定!!



4月臨時会

第131回臨時会が4月13日、
第132回臨時会が4月28日に
開催されました。

第131回臨時会 報告

○内子町国民保護計画の改訂について

議案
○内子町税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて

○内子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて

○内子町介護保険条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて

○令和4年度内子町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて

議案
○内子町長等の給与の特例に関する条例の制定について

○令和5年度内子町一般会計補正予算(第1号)について

第132回臨時会 議案

○令和5年度内子町一般会計補正予算(第2号)について

○内子町監査委員の選任について

全会一致で承認・可決されました。

可決

全会一致で承認・可決されました。

可決

内子町議会委員会条例第2条で4つの常任委員会を、第5条で議会運営委員会をおくことが定められており、各委員会の委員は次のとおりです。

○委員長 ○副委員長

総務文教常任委員会

定数8人

財政・消防・選挙・教育・他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

○塩川まゆみ ○城戸 司 山崎 正史
下野 安彦 山本 徹 泉 浩壽
森永 和夫 久保 美博

産業建設厚生常任委員会

定数7人

産業経済・土木・建築・水道・社会福祉・保健衛生に関する事項を審査します。

○大木 雄 ○関根 律之 寺岡 保
林 博 菊地 幸雄 久保 美博
向井 一富

議会広報常任委員会

定数6人

議会だよりの編集を行い、町議会で発行します。

○城戸 司 ○関根 律之 山崎 正史
泉 浩壽 森永 和夫 塩川まゆみ

予算決算常任委員会

定数15人

予算・決算に関する事項を審査します。

○森永 和夫 ○山本 徹
全議員

議会運営委員会

定数6人

議会の適正かつ円滑な運営を図るための委員会です。

○山本 徹 ○塩川まゆみ 大木 雄
森永 和夫 向井 一富 城戸 司

監査委員

財務や事業について監査及び検査を行います。町民有識者から1名、議員から1名、計2名が選任されます。

菊地 幸雄

報告

愛媛県町村議会議長会副会長 就任
久保 美博
令和5年6月5日から(2年間)

議長・副議長



議長
久保 美博

議長就任あいさつ

4月28日の臨時会において、第12代議長に就任いたしました。議会の活性化、開かれた議会となるよう5つの重点事項を中心に議員各位と努め引き続き議会改革に取り組みます。

そして向井一富副議長とともに、町民の声を聴き、付託に応え、信頼され、期待される議会となるよう努めてまいります。

- 【5つの重点事項】
- ① 町長選挙と町議選の同時選挙
 - ② オンライン委員会
 - ③ オンライン本会議(一般質問)
 - ④ 本会議及び委員会のインターネット配信
 - ⑤ 委員会審議における討論と討議のあり方



副議長
向井 一富

副議長就任あいさつ

我々を取り巻く環境は、少子高齢化、過疎化等非常に厳しい状況にはありますが、町長と議員が同じ方向を向きながら、町の発展のために議論を重ね前に進んでいく必要があると思います。そのためにも久保議長と協力しながら、町民のために何ができるかしっかし考え、職責を全うしていきたいと思っております。

一部事務組合

複数の自治体で、行政サービスの一部を共同で行う組織を一部事務組合といます。内子町では4つの一部事務組合を組織しています。

○八幡浜・大洲地区

広域市町村圏組合 定数2人

久保 美博 向井 一富

○大洲地区

広域消防事務組合 定数6人

久保 美博 林 博
下野 安彦 泉 浩壽
関根 律之 塩川まゆみ

○大洲喜多

特別養護老人ホーム事務組合 定数3人

久保 美博 森永 和夫
城戸 司

○大洲・喜多

衛生事務組合 定数3人

久保 美博 山崎 正史
山本 徹

議会事務局職員の異動

本田紳太郎(住民課 参川福祉館から)
和氣 啓介(総務課 財政係へ)

6月定例会

第133回定例会が
6月5日から14日までの
10日間の会期で開催されました。

5日

町長招集挨拶及び行政報告
議案提案
● 特別委員会の設置 1件
● 報告 4件
● 議決 1件
● 条例の一部改正 2件
● 指定管理者の指定 1件
● 物品購入契約 1件
● 計画の変更 1件
● 補正予算 3件
● 工事請負契約 1件
● 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願

議決(1件)

議会広報常任委員会

6日

一般質問(6議員)

7日

総務文教常任委員会

8日

産業建設厚生常任委員会

14日

予算決算常任委員会

各委員長から審査報告

◆賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対

※久保議長は本会議の表決には加わらない。

議案名	城戸司	塩川まゆみ	関根律之	向井一富	久保美博	森永和夫	菊地幸雄	泉浩壽	大木雄	山本徹	下野安彦	林博	山崎正史	寺岡保	議決結果
令和5年度内子町一般会計補正予算(第4号)について(修正)	○	○	○	○	※	○	○	×	○	×	×	×	×	×	可決
核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願	○	○	○	○	※	○	○	×	×	○	×	×	×	×	採択

令和5年度内子町一般会計補正予算(第4号)について(修正)



事業自体に反対なら分かるが、どれだけ説明すれば納得してもらえるのか。今回の予算削減がされれば後々の計画に影響を及ぼすことも懸念される。

下野 安彦 議員

これだけの大事業を執行するにあたっては広く町民に情報を開示する必要がある。パブリックコメント等で町民の声を集約する作業をしてから議会に提案するべき。

森永 和夫 議員



「議会だより」、町の広報誌でも十分に周知されている。大多数の地元住民が計画に賛同し、修正動議の取り下げの要望書も提出されており、町の活性化のためにも原案どおり可決するべき。

山崎 正史 議員

さまざまな活用方法の検討をされたのだと思うが、その内容の説明が不十分である。多くの町民に説明する機会を作り、納得してもらってから計画を進めていくことが大事である。

関根 律之 議員



内子町は歴史と町並みを大事にしたまちづくりを継続して努力をしてきた。旧森家住宅もそれに付随したものであり、今までのまちづくりをスムーズに継続するためにも必要な予算である。

林 博 議員

事業をやめるといっているわけではない。今提示されているアイデアを広く町民の皆さんに示して意見を集めることが大事である。

塩川 まゆみ 議員



議決結果

賛成7、反対6で

可決されました。

核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願



日米安保条約で守られている中で、日本政府が核兵器を持っている大国がいる以上禁止条約に署名することは難しいのではないかと。

下野 安彦 議員

条約の前文では、ヒバクシャの苦しみと被害に触れ、核兵器廃絶を訴え闘ってきたヒバクシャらの努力が称えられている。県内でも4市町が意見書採択しており、核廃絶を願う町民の想いを国に届けたい。

関根 律之 議員



核兵器禁止条約には核保有国が参加しておらず実効性がない。国が署名する以前に核保有国に対して使用禁止をするようなコミュニケーションを取る必要があり、現時点では時期尚早である。

山崎 正史 議員

日本世論調査会による調査で、日本が核兵器禁止条約に参加すべきという人が6割を超えている。これが国民の声であり、いち早くこの条約を署名・批准することが妥当だと考える。

塩川 まゆみ 議員



議決結果

賛成7、反対6で

採択されました。

【議案】

報告・専決処分以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。なお、「核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願」は最終日に総務文教常任委員会委員長名で発議し、即日採択されました。委員会での審査内容は6～9ページに掲載。

◆全会一致で受理・承認・可決された議案

付託先	(総) 総務文教常任委員会 (産) 産業建設厚生常任委員会 (予) 予算決算常任委員会
-----	---

◎議会改革特別委員会の設置について
報告

- ◎令和4年度内子町一般会計繰越明許費繰越計算
- ◎令和4年度内子町一般会計事故繰越計算
- ◎令和4年度内子町水道事業会計繰越明許費繰越計算
- ◎令和4年度内子町下水道事業会計繰越明許費繰越計算
- ◎専決処分の報告について
令和5年度内子町一般会計補正予算(第3号)

条例の改正

- ◎内子町附属機関設置条例の一部を改正(総) 8ページ
- ◎内子町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正(総) 8ページ

指定管理

- ◎内子町観光振興拠点施設(総) 8ページ

契約

- ◎第3号 システム洗浄機購入に係る物品購入契約(総) 8ページ
- ◎第30号 柿原自治会館新築建築主体工事に係る工事請負契約(総) 9ページ

計画変更

- ◎土地改良事業計画(今生地区)について(産) 9ページ

補正予算

- ◎令和5年度内子町介護保険事業特別会計(予) 7ページ
- ◎令和5年度内子町水道事業会計(予) 7ページ

全会一致

受理・承認・可決

どうする旧森家住宅

問 旧森家活用が町全体の計画であれば、パブリックコメントなど一度仕切り直して進めるべきではないか。

答 町並・地域振興課
コロナ過の中でも旧森家を公開し、カフェを開き、アンケート調査を行うなど、広く意見を求める取り組みを行ってきた。



公開された旧森家住宅の様子

旧森家住宅（二期）実施設計委託料
（1100万円）

問 観光客を誘致するとすると、車の通行量も増えるが、中町通り側に駐車場があると歩行者の安全性に問題があるのでは。

答 町並・地域振興課
駐車場についてはネックと考えるが、今後の実施設計の中での検討課題と考えている。

議案第60号 令和5年度内子町一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議

発議者 内子町議会 予算決算常任委員 城戸 司

修正動議趣旨

今議会上に上程されている旧森家住宅実施設計委託料については、新型コロナウイルス感染症のまん延という不測の事態により、事業に遅滞が生じたことについては理解するものである。しかしながら、この3年あまりの間、議会に対する説明が不十分なまま、今回唐突に計画が示された。地元住民の要望、関係団体との合意形成の過程、また事業全体にかかる費用や今後期待される効果等、議決に必要な事実関係の説明報告が十分であったとは言い難い。この事業そのものを否定するものではないが、地元をはじめ町民の声を幅広く聴きながら計画内容をさらに精査し、より良い事業となるよう再考を求めるため、旧森家住宅実施設計委託料の予算1,100万円を減額するものである。

CHECK!

修正動議とは

町長から議会に、議案（条例の制定、予算を定めること）の提出があった場合、本会議及び常任委員会等で審査し、議決を行います。議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて、議案を修正することができ、議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することになります。

※令和5年度内子町一般会計補正予算（第4号）について、旧森家住宅実施設計委託料1100万円を減額する修正案（修正動議）が提出され、採決の結果、賛成多数により修正案は可決されました。（討論は5ページを参照）
※また、修正案を除く原案については全会一致により可決すべきものと決定しました。

◎令和5年度内子町 介護保険事業特別会計 補正予算（第1号）

人事異動に伴う職員人件費の調整を行うもので、歳入歳出それぞれ14万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、28億5427万2千円とする。

◎令和5年度内子町 水道事業会計 補正予算（第1号）

人事異動による人件費の調整を138万5千円行い、収益的支出を4億2741万8千円とするものです。また、資本的収入の補正として、重要給水施設配水管耐震化事業等の内示額増により、資本的収入を400万4千円増額し、5億2054万1千円とする。

可決

可決

龍王公園藤棚改修

予算決算常任委員会

◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第4号）

総務費

デマンドバス利用者減少が進む小田地域を対象のアンケート調査費
（12万8千円）

問 アンケート結果を基にいつまでに結論を出す予定なのか。

答 総務課
結果が出次第でできることがあれば来年度の当初予算に計上したい。

下和田集会所建設費

（1144万9千円）

問 集会所の建て替え等は、国・県の補助金でなく一般財団法人からの補助金なのか。

答 総務課
自治会館も同じで、地域の集会所、集会施設を建てる時の国や県の補助金というのが無いので、一般財団法人自治総合センターの助成金が地域の集会施設の補助金を利用した。

農林水産業費

小田菌床センター積雪被害による改修補助
（2310万円）

問 農業施設の保険はあるのか。

答 農林振興課
建物の保険には、約590万円入っていた。全額を撤去費用に充てている。

問 菌床しいたけの年間の売り上げは。

答 農林振興課
菌床しいたけの販売額は、例年2億から2億5000万円程度となっている。

問 えひめ中央農協からも、ある程度の補助金は出るのか。

答 農林振興課
今回、内子町の補助金として3割、残りの7割はえひめ中央農協が負担する。

商工費

小田深山溪谷遊歩道実施設計委託
（200万円）

問 鹿の被害は小田深山では見られないのか。

答 小田支所
鹿については今危惧されているところで、その生息域も拡大しており、小田深山でも確認はされているが、その被害によって、それが倒木に至ったという問題はなく、長年の雪害などによるものである。

教育費

学校施設特別教室等エアコン設置工事（1億9841万2千円）

問 特別教室のエアコン設置は、今回予定している台数で幾つの教室に設置されるのか。

答 学校教育課
67の教室に設置されるが、今回で必要とされる教室すべてに整備される。

土木費

龍王公園藤棚等改修工事
（6800万円）

問 藤棚の改修は、現在と同じ長さ・面積でそのまま補修するのか。

答 建設デザイン課
藤棚は延長が330m以上あるが、全区間について補修する。材質はコンクリート製の擬木を想定している。

上町児童公園施設改修工事
（3000万円）

問 身障者も健常者も使えるようなインクルーシブ遊具の導入は。

答 建設デザイン課
遊具も、例えばブランコでも、いろんな層の対象の方に使いやすいものも開発されている。そういったことも視野に入れて、検討していきたい。

総務文教常任委員会

内子町附属機関設置条例の一部を改正する条例について

「文化創造事業実行委員会」等3つを新たに設置、並びに任期満了した「大瀬自治センター整備検討委員会」を廃止するため条例の一部を改正する。

問 委員会の任期の違いは事業を推進する期間によるものか。

答 町並・地域振興課
通常2年が多いが、文化創造事業実行委員会は事業の企画、実施、振り返りを想定して3年とした。

問 委員会の具体的な活動内容は。

答 町並・地域振興課
「文化創造事業実行委員会」は町の文化芸術推進基本計画の進捗管理と町のさまざまなイベントを検討する。「観光振興計画検討委員会」は観光振興に関する計画や取り組みについて協議する。「内子町中小企業・小規模企業振興協議会」は、中小企業・小規模企業の振興に係る条例制定について協議する。

内子町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

附属機関委員を「大学教授等（学識経験者）」及び「委員」の2区分とし、それぞれの報酬額を「月額1万5000円」及び「月額6000円」とする。

問 委員の報酬の中には、旅費も含まれるのか。

答 総務課
旅費は、報酬とは別に予算を計上している。

内子町観光振興拠点施設の指定管理者の指定について

「旅里庵」の指定管理者を令和5年7月1日～10年6月30日までの5年間、一般社団法人内子町観光協会とする。

問 現在、JR等を利用する観光客の当施設の利用状況は。

答 町並・地域振興課
令和3年度は年間3697人、令和4年度は7239人。利用者は急速に回復している。

問 7239人は純粋に観光客なのか。

答 町並・地域振興課
基本的に「旅里庵」を利用する9割がJR利用客であり、ほとんどが観光客と推測している。

システム洗浄機購入に係る物品購入契約について

運転開始から24年が経過し老朽化した内子・小田両中学校給食センターの食器等のシステム洗浄機を更新する。

問 新しく洗浄機を設置することで、人員が削減されるのか。

答 学校教育課
老朽化している洗浄機の入れ替えであり、洗って出てきたものを仕分けするなど作業はこれまでと変わらないので、必要ない人員もこれまでと変わらない。



現在のシステム洗浄機の様子

柿原自治会館新築建築主体工事に係る工事請負契約について

51年経過した柿原自治会館を新築移転する。契約金額は7183万円。

問 ドーム広場も含めた跡地の利用は。

答 自治・学習課
現在の建物は来年で降解体予定であるが、ドームは存続する。今後の利活用は住民と相談して進める。

問 各自治会館の現在の整備状況及び今後の計画は。

答 自治・学習課
耐震化が必要な建物は全部で20館あり、7館が改修済み。今回の柿原が8館目で、その後立石、大瀬が準備中。残りの10館も順次協議に入っていく。

問 太陽光パネルや雨水利用など、再生エネルギーを活用するよう設計を取り入れているのか。

答 自治・学習課
太陽光パネルを検討していたが、費用対効果が見込めないため取り入れなかった。



新築される柿原自治会館

可決

産業建設厚生常任委員会

土地改良事業計画（今生地区）について

参川の今生地区の圃場整備で、造成した施設に導水する用排水路で漏水や小崩壊が発生しており、当該水路を改良して維持管理や水管理の省力化を図るもの。

問 今回の水路整備は、なぜ以前の圃場整備事業で整備しなかったのか。

答 建設デザイン課
圃場整備した当時、県道の改良計画に合わせて水路改修が行われる予定であったが、この区間のみ残ってしまったため。



改良予定の今生地区水路

核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願を採択しました！
請願団体 愛媛県原爆被害者の会
【請願趣旨】
2021年1月に核兵器禁止条約が発効されたが、日本政府は「現実的な核軍縮にはつながらない」として同条約に「一貫して反対の立場をとり続けている。しかし、唯一の戦争被爆国としての日本政府の責任は特別重要であり、核兵器廃絶に向け国際間の調整役など主導的役割を果たすべきことから、同条約に署名・批准するように、国に対して意見書を提出することを求めている。



※討論内容は5ページを参照。

可決

町政を問う！

内子町ホームページ
「議会事務局」



【質問通告書内容】

菊地 幸雄 議員

◎ふるさと納税 ◎保育料無償化

城戸 司 議員

◎食育 ◎LGBT

下野 安彦 議員

◎国営パイロットの現状

関根 律之 議員

◎難聴者への補聴器購入補助 ◎持続可能な暮らし・観光地に向けて
◎子ども施策等への子ども・子育て当事者の参加

塩川まゆみ 議員

◎選挙公報の発行 ◎自治会館及び集会所の通信環境の整備
◎若年・子育て世帯に対する良質な住宅の供給

向井 一富 議員

◎内子野球場の整備 ◎不登校児対策 ◎防災・減災 ◎農業委員会会長の所信を問う

11ページ

12ページ

13ページ

14ページ

15ページ

16ページ

当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。
議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」〔会議録〕のページをご覧ください。
※会議録のホームページ掲載は「議会だよりうちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

ふるさと納税で自主財源を増やせ



菊地 幸雄 議員

【ふるさと納税について】

問 2022年度の愛媛県と県内20市町のふるさと納税の実績が発表された。前年度比27・3%増の88億円で過去最多を更新した。一方で、4市町は納税額が減少したと発表された。内子町のふるさと納税の納税額が減少した要因は。

答 総務課長

令和4年度のふるさと納税の受入れ額は、最終的に1374万1000円となり、前年度と比較して、364万3000円、率にして21%の減となった。主力返礼品である果樹に寄付が集まらなかった。内子町よりも安価な寄付額で小玉スイカ、桃、柿が返礼品として選択できるなど、お得感の強い果樹が他の自治体で出品されたことにより、寄付が他の市町村へ流れたことが要因である。

問 ふるさと納税の寄付金の控除額約1000万円、このうちの75%は基準財政収入額から控除されるということになっており、交付税措置されおおよそ400万円の赤字になる。

答 総務課長

ふるさと納税の寄付金の控除額約1000万円、このうちの75%は基準財政収入額から控除されるということになっており、交付税措置されおおよそ400万円の赤字になる。



選べる使い道に追加された小田分校の魅力化推進

問 企業版ふるさと納税の現状と今後の取り組みは。

答 総務課長

町長自らが愛媛県人会などへ出向いた際に、内子町出身の会社経営者の方々の情報交換などの中で、内子町のまちづくりの紹介や企業版ふるさと納税で応援していただける仕組みを紹介するなど、PR活動を行っている。引き続き、情報発信や関係機関と連携をし、寄付の確保及び寄付企業とのパートナーシップ構築を進め、企業版ふるさと納税の促進を図っていききたい。

【保育料無償化について】

問 全国の子どもの出生数は80万人を切り、内子町の人口減少が続く、令和4年度の出生数は50人と少子高齢化が進む現代において、子育て世代の負担を減らすための政策として保育料無償化や児童手当があるが、「保育園を利用する最年長の子のことを第1子とカウントする」とあり、第1子が小学校に上がったとき、第3子でも保育料が必要となる。多子軽減制度で3人目は条件なしで無償にする考えは。

答 こども支援課長

現在、内子町内の乳幼児の保育園等への入所は、保育士不足による受け入れが困難な状態が続いている。保育園の無償化と受入れ体制の充実、一体的に進めていく必要があり、どのような形で保育料の無償化に取り組むことが最善であるか、また、どのタイミングで取り組むかなど、今後前向きに検討を協議していききたい。

答 町長

保育料について、子育て世帯の支援ということで、前向きに検討している。早く実施していきたい。

内子の郷土料理はおいしいんよ



城戸 司 議員

【美味しく元気に！】

問 成長期の食事が、将来の健康にさまざまな影響を及ぼすといわれるが、子どもの成長における食の重要性、また食育のあり方について伺う。

答 保健センター所長

食育は体育・知育・徳育の基本となるもの。よって、自分で選択する力を身につけ、生涯にわたり心身ともに健康で過ごすためにも、子どもの成長だけでなく、すべての年代において食教育の重要性は高い。食育は健康分野のみならず、農業、商工等と幅広く取り組む必要があると認識しており、各分野が連携し、協同で推進していく。

問 「内子町過疎地域持続的発展計画書」の中に、「地域の自然や暮らしに密着した自然教育、労作教育を含

む「ふるさと教育」、地産地消や郷土食を重視した食育、環境教育など、都市とは異なる内子町の特徴を生かした教育を進める」とあるが、食育や給食を通して「ふるさと教育」ができていくのか。

答 保健センター所長

第二次内子町食育推進計画に従って推進している。毎月第2木曜日を地産地消の日とし、学校や保育園の給食で、郷土料理を取り入れ、内子産の食育の提供に努めている。昨年度、五十崎小学校で郷土料理についての授業。五十崎中学校、内子中学校生徒による郷土料理のインタビューを受けている。このような食育活動を継続することで、児童生徒のふるさと教育や郷土愛につながっていくと考えている。

問 ふるさと教育、食育の観点からも、給食で使う内子産の食材の分に對し、補助をしてはどうか。

答 町長

おそらく給食の6割から7割ぐらいの材料が、地元の産物を使っている状況だと思う。これについて現時点で、やることもやらないとも言えないが、そういう視点はあるなと思う。

【あらゆる人が住みやすい町へ】
問 「LGBT」に対してどのように考えているか。

答 副町長

性的指向や性自認を理由に差別されることは絶対に許されない。本町においても、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくすため、性の多様性に関する正しい知識の普及と理解を深めるための教育・啓発活動を推進し、誰もが自分らしく生きることができるよう取り組んでいく。また、必要であれば、検討を行っていく。

問 性的マイノリティ者と言われる人の町内のトイレや更衣室はどうしているか。

答 町長

性的マイノリティ者のトイレ及び更衣室等の利用状況を調査したことはない。本町では令和2年度に「どなたでもご自由にお使いください」といったピクトサインを初めて表示整備したトイレを、内子運動公園内の「うちこの森公園」に設置した。他の公共施設にも、可能な場所から順次、同様の表示をしていきたい。



「うちこの森公園」トイレのピクトサイン

問 諸問題に対し、内子町は今後どのように対応していくか。

答 町長

学校、地域、家庭、職域、その他のさまざまな場を通じて、性の多様性に関する知識の普及と理解を深めることができるよう、教育・啓発活動を推進し、誰もが自分らしく生きることができるよう取り組んでいく。また、必要であれば、検討を行っていく。

パイロット畑にある沈砂池の土砂対策は？



下野 安彦 議員

【国営総合開発パイロット事業】

問 国営総合開発パイロット事業とは、そもそも誰が主体になり、どのような形態で、どのように事業化され、現在に至っているのか。

答 農林振興課長

地元関係者が中産間地域の開拓による基盤整備が必要と考え、昭和45年6月、大洲喜多国営総合開発パイロット推進協議会が発足。昭和50年度に着工し、13年間の工期を終え、506haの農地造成と、81kmの幹支線道路を完成し、現在に至っている。

問 団地の数、土地の所有者数と栽培作物は何か。

答 農林振興課長
旧内子町が18団地、旧五十崎町で14団地が造成。土地所有者は現在、内子地区で206戸、五十崎地区で184戸である。柿や葉タバコが主であったが、最近ではキャベツや玉ねぎ、かぼちゃなどの野菜や、柿、ブドウ、キウイフルーツなど果樹の生産が主になっている。



五十崎門松団地

問 耕作放棄地の状況はどうか。

答 農林振興課長

令和4年度の調査では、五十崎地区が9.1%で、内子地区が12.2%、内子町全体で11%となっている。

問 所有者自らが耕作されている割合や、個人や農業法人への貸借の割合は。

答 農林振興課長
団地全体で自作している割合は約60%で、個人関連の貸借が約20%と、法人への貸借が約20%である。耕作面積が広く園内の道路も広い団地ほど農業法人等への貸借が進んでいる。

問 団地ごとに組合があるのか。農道や水路や沈砂池など、管理面での補助制度はどのようなものがあるか。

答 農林振興課長

基本的にそれぞれの団地に管理組合がある。農道整備や水路、集水桝等の小規模な維持管理は、多面的支払い交付金や、中山間地域等直接支払い制度などで維持管理をしている。沈砂池の土砂浚渫に対する国・県の補助制度はないが、内子町の補助制度として、「内子町農林土木事業補助金」があり、補助率50%で100万円を限度とするものがある。

問 沈砂池の数や沈殿池の下流に人家がある箇所はどれだけあるか。



土砂が堆積した沈砂池

答 農林振興課長
工事完了時は、大小合わせて約70箇所あった。現在では、経年の堆積土砂により把握できないところもある。沈砂池が、限りなく民家に近いところにあるものとしては、2箇所を把握している。今後も団地の調査をして、危険箇所の把握をしていきたい。

問 沈砂池の目的や豪雨災害に対する国の考えや土砂の除去に対する補助の考えは。

答 農林振興課長

沈砂池は国営団地の付帯施設という考え方が主体となっており、対応できる国の補助事業は現在のところない。

答 町長

農業は大切な産業である。しっかりと、担い手も含めて元気になっていくよう取り組んでいきたい。

当事者目線で施策を実行して



関根 律之 議員

【加齢性難聴者の補聴器購入に助成を】

問 多くの高齢者のかたから、聞こえにくいことが生活に支障をきたしているという声を聞く。難聴は、うつや認知症の要因になるともいわれているが、補聴器の平均購入価格は片耳15万円程度と高額であり、購入をためらう方は多い。軽度・中等度難聴者の補聴器購入に対し、補助を検討できないか。

答 保健福祉課長

全国では、65歳以上の軽度・中等度難聴者に補助を出している市町もあり、さまざまな団体から国に対し、公的助成制度を求める意見書等が出されている。今後、国の動向などを見ながら、助成制度の導入を検討したい。

【持続可能な暮らし・観光地に向けて】

問 これまで、保育園などで使用済み紙おむつは保護者が持ち帰ることが多かったようだが、全国では近年、園で処分するところが急速に増えている。町立こども園、民間保育園で使用済み紙おむつの園での処分状況は？

答 こども支援課長

厚労省より本年1月、保護者及び保育士の負担軽減につながるから使用済み紙おむつの持ち帰りをなくし、園で処分することを推奨する指針が示された。内子町でも、指針と同じ理由で、すべてのこども園・保育園で処分している。

問 男性用トイレにサニタリーボックスを設置する動きが全国で広まってきた。公共施設や観光施設の男性用トイレに設置できないか。

答 副町長

近年、高齢の男性を中心に、前立腺がん、膀胱がんになるかたが増え、治療後も尿失禁や頻尿などの症状が残ると言われ、おむつや尿漏れパッドを使用するかたが増えている。そ

れらを外出先で廃棄するため、全国の自治体で、男子トイレにサニタリーボックスを設置する動きが広がってきている。災害時でトイレが使えない場合の衛生対策としても有効と考える。設置する施設やボックスの大きさ、形状などを十分検討したうえで、設置を進めたい。

問 観光客や高齢者・こどもなどが安心して通行できるよう、本町通り、中町通り、町並み地域へのマイカー等の乗り入れ規制・一方通行規制を検討できないか。

答 町並・地域振興課長

昭和60年代に六日市地区の町並み保存と併せた計画や、平成13年頃に警察署主導で保存地区に一方通行規制が計画されたが、いずれも住民からの反対意見が出て、実施には至らなかった。また、平成21年に伝建地区のアンケート調査では、一方通行規制等をすべきと回答した人の割合は、保存地区内で32%、保存地区外で38%。逆に交通規制の必要はないとの回答は前者41%、後者42%と、いずれも規制すべきを上回った。今後、住民等の要望や、著しい危険など、状況の変化があれば対応を検討する。



森家住宅整備計画で駐車場が面する中町通り

【こども・子育て当事者の意見を聴く】

問 「こどもまんなか社会」をめざすこども基本法11条では、こども施策にはこどもや子育て当事者等の意見反映をするよう規定された。龍王公園の開発にあたり、こどもや子育て当事者、20代くらいまでの若者からアンケート等での意見聴取をしては。

答 建設デザイン課長

龍王公園は、次年度以降に芝生広場の遊具更新、野球場、とりで付近の更新などの整備を順次進めていく予定。本年度には子育て世代をはじめ、広く住民の皆様の意見を聴取するため、少なくとも500名以上のかたにアンケート等を実施したい。

「住みたいけど家がない」問題解決に向けて



塩川 まゆみ 議員

【投票率向上と選挙公報の発行】

問 国・県から町議選挙に至るまで、投票率の低下の要因をどう考えるか。

答 選挙管理委員会書記長

要因としては新型コロナウイルス感染拡大による出控え、有権者の高齢化が大き。結果として無投票だった。が、本年4月の県議選より移動期日前投票所を準備した。引き続き住民にとって身近で関心の持てる選挙になるよう鋭意努力していく。

問 「二元代表制」についての理解が十分ではない現状があるが、どう考えるか。

答 選挙管理委員会書記長

行政と議会が共に周知していくこ



【自治会館・集会所のネット接続環境の整備】

問 内子フリーWi-Fiの導入効果は。

答 町並・地域振興課長

現在10の観光施設、9の公共施設に整備している。施設利用者の利便性や満足度の向上に一定の効果があると考えている。

とが大切。県選管とも連携しながら主権者教育（特に子ども）に取り組んでいきたい。

問 県内では松前町と砥部町が条例を制定しているが、選挙公報発行の可能性は。

答 選挙管理委員会書記長

限られた人員と期間で難しいが、今後研究していく。

問 44の建物のうち5つの自治センター、2つの自治会館以外は通信環境が整っていない。自治会館や集会所は災害時には避難所にもなるが、通信環境設備をどう考えるか。

答 自治・学習課長

自治会連絡会との意見交換会等もふまえ、自治会の活動内容によっては現在の通信環境で支障ないと捉えている。

問 ネット接続はいまや水道や電気と同じインフラである。地域住民、特に若年層に自治会館を有効活用してもらうにはネット環境の有無が重要であると考えているが。

答 町長

災害時の避難所としてはモバイルWi-Fi等の活用が考えられる。設置箇所も多く、一律に常時接続環境の整備は難しい。

【若年・子育て世帯に対する良質な住宅の供給】

問 町総合計画における「移住者」の定義は。

答 総務課長

「町の移住相談などを介して転入された方、相談から町内への定住に至るまで町が関わった方」と定義してカウントしている。

問 空き家バンク事業について。事業開始からの登録件数、成約件数、その後の町内への定住状況など、事業の評価は。

答 総務課長

現在までの登録件数が47件、成約件数32件。その後の調査はしていないが、空き家活用、移住定住促進に一定の効果はある。

問 移住者Ⅱ田舎暮らし希望とは限らない。比較的便利な街中に若い世帯の受け皿となる賃貸住宅が不足していると考えているが。

答 総務課長

空き家バンクは山間部が多い現状ではあるが、近年はより幅広く空き家情報入手に努めており、登録件数も増えつつある。

答 建設デザイン課長

町営住宅は255戸を管理しているが現時点で5戸しか空きがなくストックとして余裕がない。目的外使用はやや難しいと考えるが、今後の空き次第で柔軟に検討する。

内子野球場を球児の聖地へ



向井 一富 議員

【内子野球場の整備について】

問 ねりんピックの野球会場に内子野球場が当たっているが、選定された経緯は。

答 自治・学習課長

令和元年6月に、各市町とねりんピック各種目団体に対して、交流大会開催への意向調査が実施され、当時、内子町は「俳句」と「川柳」で回答をしていたが、愛媛県から軟式野球開催の打診があり、協議した結果、軟式野球開催での承諾に至った。

問 その大会において内子町の実行委員から要望が出ている得点板のデジタル化は。



内子野球場手差しスコアボード

答 自治・学習課長

国の社会資本整備総合交付金を充て、現在の得点板に改修したばかりなので、得点板のデジタル化は困難である。

問 内野グラウンド等の整備は。

答 自治・学習課長

現地の詳細な点検を行い、必要な措置を講じていく。

【不登校児対策について】

問 不登校児のために学校敷地外の分教室、フリースクール、特例校のような施設が設置できないか。

答 学校教育課長

今年度から、今後の内子町の教育のあり方を考える教育改革懇談会を

設置し、そのこともふまえて検討していきたい。

問 不登校による高校受験への影響は。

答 学校教育課長

現在、不登校生徒を受け入れる全日制高校が増えてきており、受け入れられる環境は広がってきている。また、通信制、定時制高校へ進学を希望する生徒もあり、令和4年度卒業の中学生の高校受験への影響はなかったと考える。

【防災・減災について】

問 大雨、地震が懸念されるが防災業務の総点検は。

答 総務課長

内子町としての被害状況などを想定し、地域防災計画をはじめとする各種計画の策定や見直しなどを行っていく。また、災害への備えとして、昨年度からは医薬品の備蓄を行っているほか、町主催の防災訓練をはじめ、消防団や自主防災組織においても、専門的、あるいは地域の特性に応じた訓練に取り組んでいる。関係



台風2号による大雨で県道崩落

機関と連携し、土砂災害危険箇所のパトロール、小田川の重要水防箇所の点検、また、消防団と合同で樋門の操作訓練や点検を実施している。

【農業委員会会長の所信を問う】

問 内子町の基幹産業である農業をいかに守り育てていくか。そのことについて、就任にあたりその所信を問いたい。

答 農業委員会会長

農業委員会会長として公正・公平を理念とし、役割や法令業務の適切な執行など、農業者の立場に立ち、地域農業の発展のため取り組んでいきたい。将来へ向け、残していかなければならない農地を、認定農業者、イターンなど意欲ある担い手へ農地の集積を図り、地域農業の担い手をサポート、男女共同参画や、労働環境の改善に向けた家族経営協定の普及、認定農業者数に占める女性の割合を高めること、及び女性の農業者年金の加入促進を一体的に推進し、女性が活躍できる環境整備に努めている。

報告

内子小学校・天神小学校3年生
議場見学



6月21日に内子小学校、23日に天神小学校の3年生児童が内子町議会議事堂を見学しました。

21日は久保議長、23日は向井副議長のあいさつの後、議会事務局から議会は年4回開かれ、1回の議会が10日から15日くらいの期間で行われ、予算や条例を決めている、と説明がありました。

内子町に関するクイズに正解した人には、議長席に座ることができる企画も実施され、みんな楽しみながら議会のことを学習していました。

児童からは、「どうしたら議長さんになれるのですか」「町の予算の100億円はどうやって集めるのですか」といった質問がありました。

傍聴席から

内子町女性団体連絡協議会 福岡 幸子

仕事の都合で今まで参加できませんでしたが、今回午後の傍聴ができるということで、初めて一般質問の議会傍聴をさせていただきました。

ドキドキ、ワクワクのよい緊張の中議会は粛々と始まりました。議員の皆さんも町長をはじめ役場の関係者の方々も、いつも見慣れている様子とは違い、私たちも背筋が伸びるようでした。今回の質問内容が、本当に身近に起こっている問題ばかりで、頷きながら聞き入ってしまいました。色々な調査やデータを駆使して的確な質問と議論をされていた議員さんに拍手を送りたくなったくらいでした。

「ちょっと町議会の傍聴にいてこうわい。」と気軽に議会傍聴に行き、町政のしくみ、行政の取り組み、議員さんの活動など、より身近に感じてみてはどうでしょう。



議会の
主な活動



5日 いかざき大風合戦、宜野座村姉妹町村提携50周年記念式典
13日 ドイツフェスタ2023〈議長〉
19日 全員協議会
24日～25日 愛媛県町村議会議長・副議長研修会(東京都)〈議長・副議長〉
26日 愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会(伊予市)〈議長〉
29日 議会運営委員会



5日～14日 内子町議会6月定例会
5日 議会広報常任委員会
7日 総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会
8日 予算決算常任委員会
21日 内子小学校議場見学〈議長〉
23日 天神小学校議場見学〈副議長〉
29日 議会広報常任委員会
30日 全員協議会、議会運営協議会
四国西南サミット(西予市)〈議長〉



7日 内子町議会7月臨時会
13日 議会広報常任委員会、総務文教常任委員会
21日 内子町議会7月臨時会、全員協議会

お詫びと訂正

令和5年5月発行(第45号)19ページの中に誤りがありました。(正)宮部哲明さん
正しくは右記のとおりです。お詫びして訂正いたします。(誤)宮部哲郎さん

新 有権者の声



18歳を迎えるに当たって

内子高等学校 3年 山岡 和奏

私は、来年1月で18歳になります。成人となる日が近付いていますが、正直、まだ私は政治についてあまり興味がありません。ニュースなどで最近、若者が選挙権を放棄しているという話をよく聞きます。興味が無いまま18歳を迎えてしまったら、私もその一人になってしまいます。そこで私は、社会の様々な事象について、自ら考え、判断し、主体的に行動するために、主権者としての責任を果たしたいと考えるようになりました。そして、選挙に行こうと思えるように調べてみました。

日本の若者がこのまま選挙に行かなかったら、民意が反映しない法が施行されることも考えられ、将来私たちの生活は、安全・安心なものにならなくなる可能性もあります。そうならないように、私たちが選挙に行き、投票をしなければならないと思いました。

例えば、私たちの住んでいる町の危険な場所の改善や、町に必要な施設の建設等の要望があるのであれば、立候補者が示している政策やマニフェスト等について詳しく調べ、同じ考えを持った立候補者に投票することで、将来の私たちの生活は、今以上に豊かなものになるのではないかと思います。

これから将来の日本の政治は、私たちが作っていくことになります。誰でもよいという考えではなく、立候補者をしっかり見極め、「私が選ぶんだ、選べるんだ。」という自覚と責任を持って選挙に行こうと思いました。

【議会だより】町民のみなさんより貴重なご意見が届いています。

先日議員さんが辞職されましたが、後任はどうなるの、選挙？という疑問を耳にしましたので、調べたら欠員のままで進まれるようですね。再選挙等の決まりはあるのでしょうか。



(50代 男性)

補欠選挙は市町村の議会の議員については、選挙区の定数（選挙区がないときは議員定数）の6分の1を超える欠員が生じた場合に行われます。内子町議会の議員定数は15名なので欠員が3名以上出た場合には補欠選挙を行う必要があります。

議会広報常任委員会

柿原自治会館新築工事に1億1308万円とありましたが、これは総費用なのでしょうか。地域住民の負担もあるのですか。集会所を造るときには地元住民も負担金があったので気になりました。



(60代 女性)

本体工事、設備工事の合計です。建物の建築のための工事費になります。また、自治センターは公民館分館（行政が直接管理するもの）ですので、地元負担金はありません。

議会広報常任委員会

募 集 中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください！

【QRコード】

内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載中！



議会事務局メールアドレス

gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集
後記

今回より新メンバーで「議会だより」の編集をしています。より良いものにするため、寄せられた感想を取り入れたりと工夫をしています。いろいろな声をお寄せください。載せきれない議会の情報も何らかの形で公開できればいいな一。(城戸 司)

【議会広報常任委員会】

委員長／城戸 司
副委員長／関根 律之
委員／山崎 正史
委員／泉 浩壽
委員／森永 和夫
委員／塩川まゆみ

次の定例会は **9月4日(月)** 開会予定です。